

【東京都神津島村】

一人1台端末の利活用に係る計画

1. 一人1台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

GIGA スクール構想による一人1台端末の整備は、文部科学省が示した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の具体化を図るものです。具体的には、児童や生徒の学習進度や興味関心、学習スタイルに合わせた最適な教材の提供やより有効な学習の補助を行うことで、一人一人の学習を最大限にサポートすることが可能となります。

本村においては、「神津島村教育振興プラン」の重点施策の一つである「児童・生徒の学びを支える環境づくり」にて ICT 機器の活用推進を掲げており、「デジタルを活用したこれからの学び」を研究・推進、子供たちの主体的・対話的で深い学びの実現を図っていきます。

2. GIGA 第1期の総括

GIGA 第1期においては、全児童・生徒に端末が整備され、本村の学習環境は大きな変貌を遂げました。児童や生徒は、日常的に端末に触れることで、ICT 機器を身近な学習ツールとして活用する機会が増え、新しい学びのスタイルを習得することができました。また、島しょ教育 DX 事業や東京都こどもホームページの掲載など、東京都からの支援もあり、学校現場へのサポート体制も構築することができました。

一方で、授業での活用については、教員が統制している中での活用場面が多いことや、教科や学年により端末の活用状況に差が見られるなど、端末の利活用において様々な課題も浮き彫りになりました。そのため、教職員に対する多角的なサポートの実施など、これらの課題を適切に対処し、現在の1人1台端末の環境を引き続き維持した上で本村の GIGA スクール構想のさらなる推進を目指し取り組んでまいります。

3. 一人1台端末の利活用方策

これらの現状を踏まえ、一人1台端末の効果的な利活用推進に向けて以下のように取り組んでまいります。

① 一人1台端末の積極的活用

- ・教員が ICT 活用の目的を理解し、ICT 活用指導力を向上できるよう、ICT 活用に関する研修を実施します。
- ・教員へのサポート体制として、ICT 支援員の配置とヘルプデスクの設置を継続してまいります。
- ・端末における LTE 通信を可能にし、児童・生徒の日常的な利活用を継続して促していきます。

② 個別最適・協働的な学びの充実

- ・本村の学習環境に適したデジタル教材を選定し、個別最適・協働的な学びに向けて支援していきます。
- ・教育効果の可視化により、学習データに基づいた評価や指導改善の取組を推進していきます。

③ 学びの保障

- ・障害のある児童生徒や病気療養児等、特別な支援を要する児童・生徒の実態等に応じて端末を活用した支援を実施していきます。
- ・やむを得ず学校に登校できない児童・生徒への対応について、ICT 端末に学習課題等を配信して自宅学習を促したり、同時双方向型のウェブ会議システムを活用して学校と児童・生徒をつないだ学習指導を行ったりするなど、きめ細かな支援を推進していきます。